

滋賀県湖北のコハクチョウ (1999～2000年)

清水 幸男

湖北野鳥センター, 529-0365 滋賀県東浅井郡湖北町今西

日本を代表する湖、琵琶湖の北部を「湖北」といつている。湖北野鳥センターでは、この湖北地方におけるコハクチョウの生息状況を調べているが、ここに1999～2000年の結果を報告する。

調査対象地は、草津市、新旭町を含む湖北地方一帯である。調査員は、清水幸男、仁科旧雄、石井光弘、西村武司、山崎歩他である。

湖北におけるコハクチョウの1999年度の初認は、1999年10月18日と例年並であったが、その後渡来数は増えず、100羽を越えたのは11月10日であった。その後もあまり増加せず、150羽前後を推移したが、2月1日にびわ町の水田で185羽を確認した。これが、今期の最高数であった。採食状況は、昨年のように渡来日より水田に上がることはなく、12月中旬まで琵琶湖で水草を食べていることが多かった。これは水草の生育が、昨年ほど悪くなかったことと、琵琶湖の水位が低く餌が採りやすかったためと思われる。しかし、12月中旬より水田に上がり始め、年が明けてから日中は水田にいることが多かった。渡来数が少なく、湖の水位が低いにもかかわらず、年末には水田に上がったことを考えると、餌となる琵琶湖の水草があまり多くなかったと推測される。また、2月中旬から降り始めた雪がかなりの積雪量となり、多くの野鳥たちが餌不足にみまわれたが、このときはコハクチョウも数日間餌が採れなかったようである。3月に入っても雪が残っており、3月中頃まで100羽以上が見られた。3月15日の17:30に、びわ町の水田にいた38羽のうち34羽が北に向かって飛びがち、翌日には怪我をしたと思われる1羽を残して姿を消した。もしかすると、コハクチョウの渡りも夜間に行なわれている可能性がある観察記録となった。また、今シーズンは全国的に幼鳥の数が極端に少なく、繁殖期にロシア極東・シベリアの北部で大きな異変があったのではないかと言われているが、琵琶湖では12月13日の調査で、151羽の中に幼鳥23羽(15%)が確認され、極端な幼鳥の減少は見られなかった。湖北以外の越冬状況をみると、コハクチョウは対岸の湖西では11月3日から2月21日まで観察されている。この地域では、だいたい20～30羽が見られ、1月10日の40羽が最高数であった。草津市の湖岸では給餌が行なわれているが、ここには1

～2月に20羽弱が飛来した。

怪我をしたと思われる個体が1羽残ったが、この個体は3月26日に確認されたのを最後に姿を消した。

コハクチョウが1971～1972年に初飛来して以来、約30年が経過したが、1995年1月3日の301羽を最高に、それ以降は減少している。琵琶湖というこれだけ大きな受皿がありながら、なぜ飛来数が飛躍的に増加しないのか疑問であり、琵琶湖の環境問題の課題でもある。

滋賀県湖北における1999～2000年コハクチョウ調査記録（最大羽数）

月日	時刻	場 所				計
		湖北町 湖岸 水田	びわ町 湖岸 水田	長浜・近江 湖岸 水田	その他	
10月 18日	12:30	3				3
19日						-
20日	9:00	3				3
21日	6:30	6				6
22日	16:30	23				23
23日	6:45	36				36
24日	8:50	40				40
25日	9:00	44				44
26日						-
27日	11:00	11				11
28日	13:15	25				25
29日	16:00	30		3		33
30日	9:15	48				48
31日	6:00	50				50
11月 1日	12:30	16				16
2日	12:00	29				29
3日	10:00	27				27
4日	9:00	2				2
5日	7:00	39				39
6日	15:30	52				52
7日	10:00	76				76
8日						-
9日						-
10日	13:10	105				105
11日	11:00	91				91
12日						-
13日	11:00	83				83
14日	17:00	83				83
15日	12:00	32				32
16日						-
17日						-
18日	10:10				129 湖北一帯	129
19日	6:30	55				55
20日	15:50	67				67
21日						-
22日						-
23日	9:30	45				45
24日						-

11月	25日	9:30	21				21
	26日	9:00	25				25
	27日	15:30	15				15
	28日	15:00	64		87		151
	29日						-
	30日	7:00	110				110
12月	1日	10:00	4				4
	2日	8:20	3				3
	3日						-
	4日	9:20	134				134
	5日	14:00	33				33
	6日						-
	7日						-
	8日	14:00	13				13
	9日	8:00	11				11
	10日	12:30	120				120
	11日	14:30		118			118
	12日	8:35	82	9	40		131
	13日	11:30	6	145			151
	14日	15:25			113		113
	15日						-
	16日	12:00	113	38			151
	17日	6:30	112				112
	18日	8:40	15				15
	19日	11:30			157		157
	20日	10:30	60		3	55	118
	21日						-
	22日	13:00	36			92	128
	23日	12:10	115		7		131
	24日					9	-
	25日	9:00	111				111
	26日	10:10	66			36	102
	27日						-
	28日						-
	29日						-
	30日						-
	31日						-
1月	1日	11:45	102				102
	2日	13:00	101				101
	3日	12:40	40				40
	4日						-
	5日						-
	6日	9:00	106		44		150
	7日	15:30		52			52
	8日	8:30	33				33
	9日	8:30	6				6
	10日	11:45	16				16
	11日						-
	12日						-
	13日	11:30	37				37
	14日	8:30	51				51
	15日	13:00	54				54

3月 8日	17:30				26 東高田	26
9日	8:00	100				100
11日	12:00			106		106
12日	9:00			120	7 三川	127
13日	9:30			124	13 東高田	137
14日	14:00			60	44 東高田	104
15日	16:00			60		60
16日	8:00	38		22		60
17日	11:40			1 (負傷)		1

<参考資料>湖北におけるコハクチョウの初認・終認, 最高羽数.

(湖北野鳥センターによる)

年	初認	終認	最高羽数	最高羽数日付
1971年11月	初認	—	—	—
1972-73	—	—	5	—
1973-74	—	—	—	—
1977-78	—	—	36	—
1978-79	—	—	13	—
1979-80	—	—	9	—
1980-81	—	—	35	—
1981-82	—	—	25	—
1982-83	10月23日	3月6日	47	2月9日
1983-84	10月18日	3月11日	51	1月21日
1984-85	10月26日	2月24日	78	2月11日
1985-86	10月28日	3月13日	148	1月15日
1986-87	10月19日	2月23日	152	1月4日
1987-88	10月16日	3月14日	182	2月27日
1988-89	10月18日	2月19日	216	1月13日
1989-90	10月22日	2月22日	191	1月16日
1990-91	10月12日	3月7日	102	11月18日
1991-92	10月24日	3月10日	152	1月5日
1992-93	10月18日	3月13日	182	11月30日
1993-94	10月15日	3月8日	256	12月2日
1994-95	10月23日	3月5日	301	1月3日
1995-96	10月15日	3月17日	279	1月21日
1996-97	10月15日	3月16日	222	11月30日
1997-98	10月18日	3月9日	285	1月14日
1998-99	10月22日	—	—	—